



Creation&Harmony
SK-Electronics CO.,LTD.

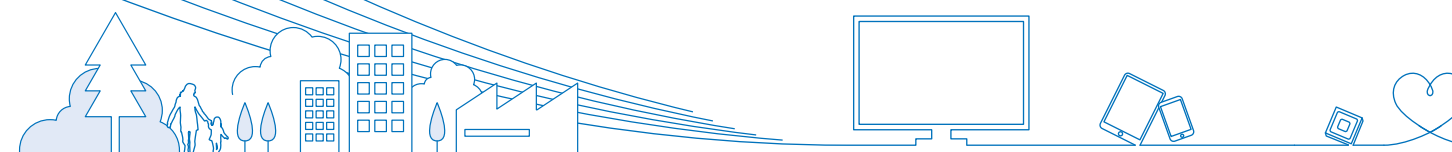
会 社 案 内



株式会社 **エスケーエレクトロニクス**
www.sk-el.co.jp

本 社 〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル豎富田町436番地の2
TEL. (075)441-2333(代) FAX. (075)441-4291

2026年9月発行



「創造と調和」の経営理念のもと、

FPD(フラットパネルディスプレイ)業界の成長と共に、
最先端技術の開発やグローバル化を推進してまいりました。

エスケーエレクトロニクスは、2001年に前身の株式会社写真化学からエレクトロニクス事業部門を分割して設立した、フォトマスクメーカーです。

FPDの技術進展に伴い、他社に先駆けてフォトマスクの高精細化対応や大型化対応を推し進め、第10世代、第11世代に対応した超大型フォトマスク製造工場を稼働させております。

また新たな事業分野として、RFID、ヘルスケアなど、事業育成にも注力しております。

これからも、開拓の精神のもと、培ってきた技術やノウハウを最大限に発揮、さらに不屈の努力でフォトマスク業界のトップランナーとして走り続けるとともに、人と社会の豊かな未来づくりに貢献しつづけるため、新たな事業展開を加速させてまいります。



経営理念

創造と調和

わたしたちは「創造」と「調和」を大切にし、
豊かな社会の実現を目指します。

創造

常に積極的に新しい価値創造に励み、社会の求める良い
製品を提供することにより、社会に貢献します。

調和

社会との調和、自然との調和、そして人との調和を大切にした
企業活動により社会的責任を果たします。



沿革

1868年(明治初頭)	石田旭山印刷所(株式会社写真化学の前身)として創業
1988年(昭和63年)	京都府久世郡久御山町に新工場(現:当社大型フォトマスク事業)を増設 世界初大型EB描画装置導入
1995年(平成7年)	工場・設備を一新し、業界に先駆けて、800mmサイズフォトマスク製造を実現
2001年(平成13年)	株式会社写真化学より分社し、株式会社エスケーエレクトロニクス設立
2002年(平成14年)	台湾の台南科学工業園區(SIPA)内に連結子会社「頂正科技股份有限公司」を設立
2003年(平成15年)	当社株式を日本証券業協会(現:東京証券取引所(所属スタンダード市場))に店頭登録銘柄として登録
2005年(平成17年)	久御山事業所(現:京都工場)に新工場を建設 韓国の天安市に販売子会社「SKE KOREA CO.,LTD.」を設立
2009年(平成21年)	第10世代、第11世代対応の滋賀工場を稼働
2010年(平成22年)	中国の上海市に販売子会社「愛史科電子貿易(上海)有限公司」を設立
2013年(平成25年)	台湾の台北市に頂正科技股份有限公司の営業拠点として台北支社を開設
2014年(平成26年)	各種オフセット印刷向けガラスドライエッチング版の販売を開始 第二種医療機器製造販売業許可を取得
2017年(平成29年)	「電気刺激装置 WILMO」の販売開始
2018年(平成30年)	「ピッキングタグ」の販売開始
2020年(令和2年)	「デジタルコルボスコープ Q-CO」の販売開始
2022年(令和4年)	「エクストリームタグ」の販売開始 第一種医療機器製造販売業許可を取得
2025年(令和7年)	アサヒテック株式会社を子会社化
2026年(令和8年)	「自律型リーダライタ」の販売開始



代表取締役社長


Masanori Ishida

フォトマスク事業

より大きく、より高精細に…FPD(フラットパネルディスプレイ)の技術進化をエスケーエレクトロニクスの「フォトマスク」が、支えています。

テレビ、スマートフォン、ノートパソコン、カーナビゲーションシステムやデジタルカメラ、更には、医療機器、産業機器、ゲーム機器に至るまで、今では、私たちの生活の身近な存在となったFPD。これらの製品開発は、より高精細に…より高性能に…、多岐に渡る、市場ニーズに応えるべく、日々進化しつづけています。これらの製品の進化を、陰で支えているのが、エスケーエレクトロニクスの「フォトマスク」です。「フォトマスク」とは、液晶ディスプレイ(Liquid Crystal Display=LCD)有機ELディスプレイ(Organic LED Display=OLED Display)をはじめとするFPDの製造工程になくてはならない高精細かつ大サイズの原版で、アナログ写真という、ネガフィルムの様な役割のものです。パネルメーカーの工場では、エスケーエレクトロニクスの「フォトマスク」を用いたフォトリソグラフィー技術によりFPDが開発され、量産されています。FPDの進化を支えるエスケーエレクトロニクスは、これからもお客様の最先端ニーズに対応し続けてまいります。



すべてはお客様のために きめ細かい対応を可能とするグローバルな 生産・販売・サポート体制を構築

私たちエスケーエレクトロニクスは、お客様と共に新しい技術開発に取り組んでいきたいと考えています。そのため、生産・販売・サポート拠点をお客様の近くに設け、きめ細かくフォローできる体制を構築しています。



京都工場
1988年の稼働以来、多くのサイズ・種類のフォトマスクを製造しています。最大サイズは、第8.5世代対応で、現在は付加価値の高い製品も得意としています。



頂正科技股份有限公司
2002年に設立した台湾の連結子会社「頂正科技」では、第8.5世代までのフォトマスクを製造し、台湾、中国のパネルメーカーを中心に提供しています。



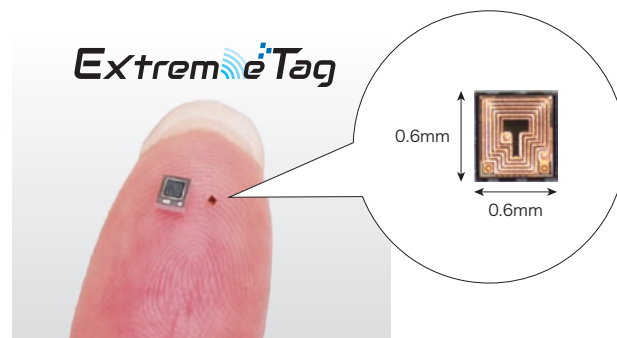
滋賀工場
2009年、世界に先駆け稼働した第10世代、第11世代に対応した超大型フォトマスク製造工場。世界最高峰技術を駆使し、第10世代、第11世代だけではなく、第8.5世代以下の高精細フォトマスクの製造も可能です。



RFID分野

世界最小※クラスのRFID独自技術で、多様な現場にソリューションを提供することを目指します。

RFIDは自動認識技術として世界中で広く普及しています。当社は世界最小クラスのRFID「エクストリームタグ」をはじめとするエクストリーム(究極)なRFID技術でお客様の現場ニーズに合わせた最適なRFIDソリューションをご提案し、導入から運用までをサポートします。あらゆる「小さいモノ」や「現場」に、新たな可能性を生み出します。



※UHF帯RFID ICタグにおいて 2026年7月当社調べ

ヘルスケア分野

コトづくりを通じて健康と笑顔あふれる世界を目指します。

私たちは今まで培ったエレクトロニクス技術を拡大し、サポートを必要とする全ての方に向け、コトづくりを通じて健康と笑顔あふれる世界を目指します。国内や海外の医療先進国の最先端テクノロジーを柔軟な思考で取り入れながら、人と社会、自然と調和するためのヘルスケア/医療機器およびサービスを提供します。私たちは、もっと身近に、もっと笑顔になれる「コト」を創造し続けます。



デジタルコルボスコプ
Q-CO(キューコ)



コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンスに対する基本的な考え方

当社グループでは、コーポレート・ガバナンスの強化・充実が重要な経営課題の一つであり、株主・取引先・地域社会・社員などの社内外のステークホルダーに対して、経営の透明性をより向上させるとともに、コンプライアンスを重視した経営を実践することが、継続的に企業価値を高めていくために必要であると認識しています。

コンプライアンス

コンプライアンスに対する基本的な考え方

法令を遵守することはもとより、社会規範や企業倫理に沿った行動を通じて健全かつ公正な事業活動を行い、社会の利益に資することを目指します。

内部通報

内部通報保護規程を制定し、法令違反ないし不正行為による不祥事の防止および早期発見、ならびに社会的信頼の確保のためヘルプラインを設けています。

内部統制システム

当社グループでは、健全かつ効率的に組織を運営するために、業務の有効性・効率性、報告の信頼性、事業活動に関わる法令等の遵守、資産の保全という4つの目的を達成するための内部統制システムをグループ全体を対象として整備し、運用しています。この内部統制システムの有効性については、監査等委員会、会計監査人、監査室が連携して監査を実施しています。

反社会的勢力への対応

当社グループでは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは一切関係を持たず、反社会的勢力からの要求を断固拒否し、これらと係わりのある企業・団体・個人とはいかなる取引も行わないことを基本方針としています。また、反社会的勢力に対する対応は、弁護士、所轄警察署や関連団体との連携を図り、社内体制の整備強化を推進しています。



社会貢献活動

事業所周辺の清掃活動

拠点周辺の地域への社会貢献活動として、毎週1回、事業所周辺の地域清掃活動を行っています。地域の皆さんとも挨拶を交わすなど、地道な活動が根付いてきています。また、毎週の地域清掃活動とは別に、環境委員会の主催により、事業所近辺を広域的に清掃する活動を年に数回、開催しています。

エコキャップ運動

各事務所にてペットボトルのキャップを集め、リサイクル業者に回収して頂く事でプラスチックの廃棄量を減らし、再資源化・CO₂削減などの循環型社会の実現に貢献しています。

生物多様性への貢献

地球上の生物は、いろいろな環境に独自に進化し適応するとともに、関係し合いながら生活しています。それらの生物多様性は複雑に絡み合い、私たちの生命と暮らしが支えられています。私たちは生物多様性保全活動の一環として、琵琶湖や里山などの環境保全のために、外来魚駆除活動や棚田ボランティアへの参加、環境講演会の開催を行っています。

NPO法人キッズアートプロジェクトへの協賛

NPO法人キッズアートプロジェクトの取り組みに賛同し、子供たちの作品（絵画や、ちぎり絵等）をZellaMed聴診器の膜面として制作しています。小児関連学会やキッズアートプロジェクトECサイトにおいて聴診器販売を実施し、プロジェクトの取り組みを広くPRすることで、小児病棟及び小児患者の医療環境改善活動に貢献しています。

国際標準規格 ISO9001、ISO14001、ISO45001

ISOシリーズの認証取得を通して、世界市場との協調とともに地球環境との調和を目指した企業活動に取り組みます。当社グループでは、前身の株式会社写真化学時代に大型フォトマスク事業において品質マネジメントシステムの国際標準規格「ISO9001」の認証を取得しました。さらに、2002年には、地球環境の改善を目指した経営ツールとして環境マネジメントシステムの国際標準規格「ISO14001」の認証を取得しました。また労働安全衛生の国際規格「OHSAS18001」を2012年に

京都工場において取得し、2020年には「ISO45001」へ移行し、認証取得しました。連結子会社である頂正科技股份有限公司においても、2004年に品質マネジメントシステム「ISO9001」を取得しました。また2008年に環境マネジメントシステム「ISO14001」の認証を取得しており、循環型社会の形成を目指しています。

品質に対する取り組み

当社グループでは、「お客様重視」と「品質優先」の考え方により、製品・サービスの提供の向上を推進しています。

品質方針

私たちは、「お客様に満足いただける品質とサービスの提供」を実現するため、『創造と調和』の理念を基に、長年培ってきた高度な生産技術と独創的な技術開発の継続的追求により次の活動を推進します。

1. お客様の満足度向上に徹します。

- ①市場の変化をタイムリーにつかみ、顧客ニーズに対応するマーケティング活動を行います。
- ②顧客ニーズに的確に対応する技術力・生産力の充実を図ります。

2. 継続的改善により、『仕事の品質』の向上を図ります。

- ①情報の『見える化』により生産性の向上を図ります。
- ②『レビュー・リリース』により品質・コストを改善いたします。
- ③『プロセス重視』の改善活動により高品質の製品を提供いたします。

3. 国内・海外拠点のグローバル品質を確保いたします。

- ①品質保証体制を充実させます。
- ②品質情報を共有化いたします。
- ③品質マネジメントシステムの充実を図ります。

4. 品質マネジメントシステムの実効性を維持します。

- ①法令規制に適合した製品を提供します。
- ②品質規格の要求事項に適合します。
- ③実効性、妥当性を維持する為にレビューします。

環境に対する取り組み

環境理念

私たちは、経営理念に基づき、常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。

環境方針

「環境への取り組みはSKE社員の責務である。」を基本姿勢に、当社の事業活動や製品及びサービスによる環境影響を評価し、以下の方針に基づき環境問題に継続的に取り組んでまいります。

1. 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーに努めます。
2. 汚染を防止し、循環型社会の形成に貢献(3R※の実践)し、環境保護に努めます。
3. グリーン調達に取り組み、環境に優しい製品作りに努めます。
4. 関連する環境法令や規制及び協定等を順守いたします。
5. 環境教育を実施し、環境意識の向上を図ります。
6. 社会貢献活動を実施します。
7. 環境パフォーマンスを向上させるために環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
8. この方針は社員に周知徹底すると共に、一般にも公開いたします。

※3R：Reduce(廃棄物の排出抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)

労働安全衛生に対する取り組み

労働安全衛生理念

私たちは、経営理念に基づき、当社で働く人々の労働安全衛生の確保を企業の社会的責任と考え、労働安全衛生管理体制の充実に取り組んでまいります。

労働安全衛生方針

事業活動全般を通じて、一人ひとりの安全と健康を守るため、以下の方針に基づき、労働安全衛生活動を推進いたします。

1. 働く人の負傷及び疾病を防止し、安全で健康的な職場を提供します。
2. 当社の事業活動に関わる独自の労働安全衛生リスクを認識し、危険源を除去し、リスクの低減に努め、労働災害ゼロを目指します。
3. 労働安全衛生に関する法令や規制及び協定等を順守いたします。
4. 労働安全衛生マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
5. 労働安全衛生マネジメントシステムの運用に関して、当社で働く人々が協議及び参加できる仕組みを構築します。
6. この方針は、社員に周知徹底すると共に、一般にも公開いたします。